

「加治木小学校のくも合戦伝承活動の取組」

1 学校名

始良市立加治木小学校

2 学年・人数

5年生（計44人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年6月6日（蜘蛛採取）～6月13日（蜘蛛の育成）

(2) 発表の日時・場所

令和3年6月14日・本校5年教室前オープンスペース

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について

(1) 名称

くも合戦（くもがっせん）

(2) 由来

くも合戦は，文禄・慶長の役の陣中で島津義弘公が兵士を励ますためにコガネグモを集めて戦わせていたのが始まりであると伝えられている。

(3) 構成等

くも合戦保存会の方による講義，くも採取活動を行い，採取したくもに餌をやるなど，1週間ほど児童が育て，4年生見学の下，5年生両クラスの代表くもを，保存会の方の行司の下，戦わせる。

5 保存会や地域との連携の具体

例年はいくも合戦保存会の方々と，前述のような連携を図っているが，ここ2年は，保存会の方に情報提供をしていただき，5年生単学年で行っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

くも合戦の由来から学習し，生命尊重，文化伝承，郷土愛の心を育むためのカリキュラムを，総合的な学習の中で行っている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）

本年度も単学年の取組のため，省略した部分が多い。飼育は，教室横のオープンスペースを使って，笹にくもの巣を張らせた。えさは，子供たちが捕まえてきたバッタやカナブンを与えた。霧吹きでくもの巣を濡らして，水分も与えた。

くも合戦については調べ学習を中心として行い，各学級2匹ずつ育てたくもを戦わせた。



〔図1〕くも合戦の様子



〔図2・3〕オープンスペースで育てているくも

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【5年生児童生徒】

クラスみんなで育てた「くまもん」「コガネ」「黄金」が一生懸命に戦ってくれて、うれしかった。くもが恐くて触れなかったけど、大切に育てることを通して、抵抗が少なくなった。みんなで決めた名前を呼んで、愛着がわいた。

くもがあまり好きではなかったから、飼育することもくも合戦をすることも嫌だった。実際に世話をしている内にとってもかわいく思えてきて、ずっと飼っていたいと思ったほど、気持ちが変わった。くも合戦もとても熱くなった。生存競争にも負けないで欲しい。

【教職員】

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校主体の開催となった。例年は採取、採取見学を保存会の方に委ねていたが、採取から、本番の企画運営まで行うことで、伝承活動の一端に触れる機会にはなったが、児童には、本物のくも合戦の様子を見た上で、校内で行うくも合戦の活動を体験してほしいという思いはある。